

報道機関各位

大正大学 地域資源調査報告会等を開催します

2月に当町の魅力や課題について、大正大学の学生が行った現地調査に関する報告会を開催します。あわせて町職員、大正大学及び豊島区職員によるワークショップを開催します。

開催日時 平成29年3月16日(木)

ワークショップ 午前9時30分～12時00分

現地調査報告会 午後1時30分～3時30分

※学生は3月15日(水)に来町し補完的な調査を行います。

場 所 箕輪町地域交流センター研修室A B**内 容** ○ワークショップ

大正大学学生、当町職員により「豊島区と箕輪町の連携_新たな可能性」をテーマにワークショップを開催します。

※豊島区職員にも参加いただく予定です。

○現地調査報告会

大学生が移住者目線で「住む」「暮らす」「働く」に関する当町の環境や状況について行った現地調査等の報告及び提言などを行っていただきます。

調査員等 学校法人 大正大学(東京都豊島区西巣鴨 3-20-1)

地域構想研究所研究員・地域創生学部講師 中島 ゆき 氏

地域構想研究所客員研究員(H29専任) 山中 昌幸 氏(ワークショップ)

地域創生学部地域創生学科の学生 6人

添付資料 ☒ 有 無

企画振興課 まちづくり政策係
(政策調整担当課長) 今井政文 (担当) 鈴木清次
電 話 : 0265-79-3111 (内線) 114
F A X : 0265-79-0230
E-mail : kizai@town.minowa.nagano.jp



平成28年度 箕輪町・豊島区交流推進調査研究事業
～移住先としての、箕輪町の地域資源の優位性と課題～
～地域コミュニティの課題発掘～

1 目 的

当町は地方創生に向け、豊島区とのさらなる交流を推進するにあたり、豊島区と地域共創に関する協定を締結している大正大学に、当町において移住者の目線で、住民等に聞き取り調査等を行っていただき、当町の魅力や地域コミュニティなどの課題の提言をいただくこととする。

2 調査期間（来町調査）

- (1) 事 前 調 査：平成29年2月13日（月）～15日（水）
- (2) ワークショップ（WS）及び現地調査報告会：平成29年3月16日（木）
※学生は3月15日（水）に来町し補完的なヒアリング等を行う予定。

3 調査員（訪問者）

- (1) 指導教員
 - 調査研究：中島 ゆき 氏（大正大学地域構想研究所研究員・地域創生学部講師）
 - WS：山中 昌幸 氏（大正大学地域構想研究所客員研究員（平成29年度から専任）、NPO法人JAE会長、（株）次世代共創企画 代表取締役）
- (2) 訪問学生 大正大学地域創生学部地域創生学科学生 6名
- (3) 事務局職員 大正大学地域創生学部部長 佐藤 徹明 氏
- (4) 豊島区職員 3名（ワークショップ途中参加）

4 開催概要

大学生が、移住者の目線で「住む」「暮らす」「働く」に関する町内の環境や状況について、視察及びヒアリング調査等を行い、見えてきた町の魅力や課題等について、町に提言を行う。報告会の前段では、豊島区との連携に向け、大学生と職員によるワークショップを開催する。

- (1) **ワークショップ（午前9時30分～正午 地域交流センター研修室AB）**
「箕輪町と豊島区の連携__新たな可能性」をテーマに、町職員（政策研究グループ、豊島区・箕輪町プロジェクトチーム）、大正大学学生、豊島区職員（※途中参加）によりワークショップを開催。
- (2) **現地調査報告会（午後1時30分～3時30分 地域交流センター研修室AB）**
事前調査等を踏まえて報告会を開催。
【報告会の概要】
 - ・視察全体の報告
 - ・箕輪町アルバム
 - ・テーマ別の箕輪町の可能性（3テーマ）
 - ・質疑応答&意見交換会 等

参 考

<事前調査（2/13～15）>

ア 当町の現状等について（移住、情報発信 等）

- ①企画振興課 みのわの魅力発信室
- ②地域おこし協力隊

イ「住む」「暮らす」

- ①移住先の動向、不動産情報等
- ②移動販売の動向、顧客の状況
- ③住民へのヒアリング（ながたの湯、イオン、たべりこ等にて）

ウ「働く」

- ①商工会等を通じて新規創業した方（IT系、服飾系）
- ②異業種交流会（箕輪町ものづくり交流プラザ）との交流
- ③みのわ未来委員会

<事前調査とりまとめ>

大学にて事前調査した内容等を取りまとめ町に対する提言等を検討。